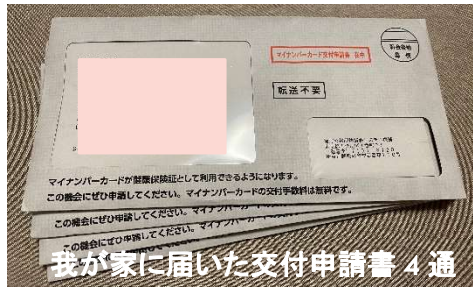




## マイナンバーカードが健康保険証として使えるとお手紙が・・・

ご自宅にお手紙が届いていませんか。マイナンバーカードが健康保険証として使えます・・・といった内容で、マイナンバーカード交付申請書が封入されています。国が一括して対象者の個々人に発送(荒川区では約168,000人)します。発送期間は昨年12月30日から3月17日まで、9回に分けて郵送されます。我が家にも家族分4通が届きました。



今の健康保険証が使えなくなってしまうの？マイナンバーカードを持たなくてはいけないの？と、複数の方から心配の声がありました。

### 健康保険証はこれまで通り使えます

マイナンバーカードを持たなくても、健康保険証はこれまでどおり使えます。マイナンバーカードを持っている方が登録をすれば健康保険証として使えるようになります。

現在、皆さんが使っている保険証には、被保険者とその扶養家族に同じ「記号・番号」が記載されています。マイナンバーと紐づけるために「記号・番号」に「枝番号」がふられて、個人の特定がされるようになります。この作業はすでに終了しており、次の健康保険証発行の際には「枝番号」が記載された保険証が渡されます。

これまでどおり、保険証が使えますのでご安心ください。

### 医療機関・薬局では

マイナンバーカードから健康保険情報を読み取る機械を病院が設置する場合、国が全額負担します。ただ、最初の機材購入のみ。修理などランニングコストは医療機関が負担します。

機械購入の助成金は3月までに申請するようですから、マイナンバーカードが実際に使える病院は一部のみとなりそうです。コロナで大変な状況が続く医療現場に、更なる負担となるのではないのでしょうか。

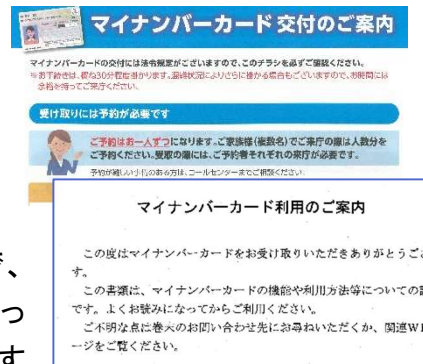
### 荒川区のマイナンバーカード発行枚数状況

今年2月21日現在の発行枚数は61,076枚、取得率は28.13%です。

申請書が区内に168,000通も送られているので、カード発行枚数が今年に入ってから増えています。国の相談窓

口はありますが、「詳細は自治体に問い合わせてください」という対応が多く、基礎自治体・荒川区は大変です。区は独自に「マイナンバーカード申請相談窓口」を開設しました。

マイナンバーカードの仕組みが複雑でわかりづらいので、受け取る方に理解していただくため、荒川区独自にパンフレットも作成したとのことです(右画像)。丁寧な説明で、A4サイズ26ページだてとなっています。庁内で印刷。用意するスタッフも大変です。



区独自に作成した案内文書

マイナポイントや、健康保険証機能を付けるなど、国はマイナンバーカード取得率アップに躍起になっています。ですが、様々な個人情報が一括して入っているマイナンバーカードは、情報漏洩も心配です。子どもに保険証として使わせるのに躊躇いませんか。自治体も対応に追われて大変です。

メリットとデメリットをよく考え、本人の意思でカードを作らないか、作るか、お決めください。不安であれば、作らなくてもいいと思います。

### 予算特別委員会でも取り上げました

3月2日の予算特別委員会にて、区議団はこの問題を取り上げました。国民健康保険証がこれまで通り使えることを確認、周知するよう要望し、区も広報していくと答弁しました。

【問合せ】荒川区役所 電話番号:03-3802-3111  
区民生活部戸籍住民課住民記録係 (内線 3737)  
荒川区マイナンバーカード申請相談窓口  
(内線 3745 または 3746)

定例☆法律相談  
何でも・お気軽にどうぞ  
3月19日(金) 18時半~20時  
北村あや子事務所



# 区民に寄り添う予算を 来年度予算案に対し、組替え動議

日本共産党区議団は、初となる「予算組み替え動議」を出しました。詳細は右のとおりです。

新年度予算は、区政史上経験したことのないパンデミックの下での編成になります。そのため、感染防止対策を最優先に、区民の暮らしや営業を守ることを基本に、ケア労働や一番大きな影響を受けている生活困窮者への支援を抜本的に拡充することが求められています。また、未着手の大型開発やいわゆる「ハコモノ」については、見直しや先送りが必要です。

区の予算案は、新型コロナウイルス感染症対策について約14億円のうち100%国庫支出のワクチン接種が約10億円を占めています。安全性を確保した上でワクチン接種は、今日的に重要な事業ですが、同時に無症状感染者を含めた検査の抜本的拡充、医療機関への国、地方上げた支援の強化などで感染を抑え込む対策強化が求められています。同時に、コロナ禍で一番大きな影響を受けているのは、社会的に弱い立場の方々であり支援の強化が求められています。しかし今回の予算案では、こうした分野の施策が不十分だと言わざるを得ません。

区民に寄り添った予算編成とするため、総額約10億円、予算全体の1%程度の組み替えを求めます。

## 1 歳出の増額

### (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の強化

①検査体制などの拡充、医療機関支援強化など	2億円
②保健所体制の強化 (保健師の増員、専門トレーナー確保など)	7,000万円
③コロナ対策 区内中小企業事業継続支援補助事業	6億530万円
④コロナ対策融資の金利本人負担ゼロ%	500万円
⑤二酸化炭素濃度測定器 全小中学校配備	100万円

### (2) ジェンダー平等の推進

①パートナーシップ制度導入など LGBT 支援事業	300万円
②相談、広報などの拡充	500万円

### (3) 格差と貧困の是正、生活困窮者支援

①ひとり親世帯の家賃助成制度創設	5,000万円
②生活保護 法外援助 夏期手当	1,500万円
③エアコン購入助成(高齢者・障害者・子育て世帯)	500万円
④就学援助の対象拡大	9,193万円
⑤学校給食の段階的無償化に向けた調査費	200万円

## 2 歳出の減額について

### (1) 市街地再開発事業の削減

(三河島北、西日暮里 各500万円を残して減額)	3億920万円
--------------------------	---------

### (2) 区の学力テストの中止

	2,824万円
--	---------

### (3) マイナンバーカードの普及事業の削減

	12万円
--	------

## 3 歳入の増額

### 1 (1)～(3)の事業を実施するために基金繰入金 (財政調整基金、産業振興基金)の増額

(1) 財政調整基金繰入金	5億7,528万円
(2) 産業振興基金繰入金	3億円

# モノづくりブランド「ara! kawa」展

荒川区は隅田川沿いを中心に明治時代には商工業の町として変貌を遂げ、戦後は、印刷、金属製品製造、衣服等の生活関連産業が、モノづくりのまちとしての発展の一翼を担ってきました。現在でも数多くのモノづくり企業が存在し、その技術は世代を越えて受け継がれ、地域の大きな財産となっています。

現在、銀座松屋7階のデザインギャラリー1953にて、人と人、人とモノをつなぐ工夫、秘密が体感できるワクワクする展覧会が開催されています。荒川区の職人たちとデザイナーがタッグを組み、生活を豊かにする商品開発プロジェクト「ara! kawa」の取組み、3企業とデザイナーのコラボレーションによって生まれた成果物をご紹介します。

## 展覧会概略

第771回デザインギャラリー1953 企画展

モノづくりブランド「ara! kawa」展

会期:2021年2月24日(水)～3月22日(月)

最終日午後5時閉場・入場無料

会場:松屋銀座7階・デザインギャラリー1953

主催:日本デザインコミッティー

協賛:荒川区ブランディング推進委員会、昭和女子大学 ナカダケンキュウシツ、  
東京都立大学インテリアデザインスタジオ、東京造形大学、女子美術大学

◎松屋銀座のWebサイトにて、営業日・営業時間をご参照ください。

コロナ禍ですが、対策をとってお出かけしてみたいはいかがでしょうか。

